

# 緊急赤潮情報R4-5

令和4年7月14日

大分県農林水産研究指導センター  
水産研究部北部水産グループ

別府湾（納屋港）で有害赤潮プランクトンのカレニアミキモトイが注意密度を超えて確認されています。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	カレニアミキモトイ (細胞/ml)
7月13日	納屋港	14:50	0	28.5	-	478

採水・検鏡：大分県東部振興局農山漁村振興部水産班

カレニアミキモトイ  
・注意密度  
200細胞/ml  
・警戒密度  
2,000細胞/ml



カレニアミキモトイは非常に有害なプランクトンです。  
以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

## (カレニア・ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア・ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

## (赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。